



# 農力向上大作戦！耕作放棄地再生サミット

---

## 諸団体の活動紹介

- ・佐藤洋 氏(山梨県都留市産業観光課)
- ・林良樹 氏(農事組合法人 鴨川自然王国)
- ・ハッタケンタロー 氏(種まき大作戦 / 麦まき大作戦)
- ・大塚洋一郎 氏(特定非営利活動法人 農商工連携サポートセンター)
- ・白石真一 氏(株式会社千葉農産)
- ・竹本亮太郎 氏(株式会社キュアリンク檜原再生プロジェクト)
- ・古屋富雄 氏(神奈川県南足柄市農業委員会事務局)
- ・諸田三比呂 氏(株式会社新しい村)
- ・高安和夫 氏(銀座ミツバチプロジェクト「みつばちの里づくり」)
- ・仲野忠晴 氏(NPO法人「畑と田んぼ環境」再生会)
- ・開澤真一郎 氏(特活:日本国際ワークキャンプセンター(NICE))



## 佐藤洋 氏:山梨県都留市産業観光課

---

活動地域:山梨県都留市

自己紹介:

都留市役所産業観光課宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター所属、  
第一次産業の地域内循環システム構築コーディネーターです。

活動紹介:

子育て世代に対応した農法スタイルの確立(実践)

微生物や小動物に活かされた農法スタイルの確立(実践)

森づくりとつながる田んぼ(実践)

泥田んぼ(実践)

放棄地再生に力を貸してくださいプログラム

土地の借りた方サポートしますプロジェクト



ネイチャーセンター外観



泥たんぼプログラムの様子



ワークショップの様子



## 林良樹 氏：農事組合法人 鴨川自然王国

活動地域：千葉県鴨川市大山地区

### 自己紹介：

アメリカ、アジア、ヨーロッパ放浪後、鴨川の古民家へ移住。地球に調和という絵を描くという地球芸術をライフワークとする。「スマイル・レボリューション 3・11から持続可能な地域社会へ」加藤登紀子・林良樹 共著 / 白水社を去年の10月に出版。

### 活動紹介：

「鴨川自然王国」にて休耕地の棚田を再生し、会員制度、里山帰農塾など都市農村交流及び農産物の生産、加工、販売を行う。また「NPO法人うず」で、村の長老たちと棚田オーナー制を運営し、今年からは長老たちの里山伝統文化である「昔の知恵」とパーマカルチャーなどの「新しい知恵」を学ぶ「鴨川地球生活楽校 earth living school」を開催し、21世紀型持続可能な暮らしのガイドブック「新・里山の教科書」を制作する。

他に 地域通貨「安房マネー」(約150世帯300名参加)を運営し、生活を助け合い、人と人がつながるネットワーク型コミュニティづくりを行う。

3・11後は、福島の子供達の週末保養受け入れのため「鴨川市大山支援村」の活動を行う。





## ハッタケンタロー 氏:種まき大作戦実行委員会

活動地域:千葉県神崎町/埼玉県小川町/宮城県石巻市など

自己紹介:

種まき大作戦は「はじめる自給！」を合い言葉に、イベント参加者に呼びかけ「みんなで作って、みんなで食べる」楽しい輪を各地に広げています！さらに宮城県石巻市の仮設団地でも活動の場を広げています！

活動紹介:

『開墾からはじめる！棚田チャレンジ(通称:たなチャレ！)』(千葉県鴨川市)協力:鴨川自然王国 / 『種まきからはじめる！手前味噌チャレンジ(通称:みそチャレ！)』(千葉県神崎町)協力:こうざき自然塾、トージバ / 『田植えからはじめる！自然酒チャレンジ(通称:さけチャレ！)』(千葉県神崎町)協力:寺田本家 / 『麦まきはじめる！地ビールチャレンジ(通称:びーチャレ！)』(埼玉県小川町)協力:麦雑穀工房マイクロブルワリー、霜里農場、河村農場 / 『いしのまき地ビールチャレンジ“石巻復興エールへの道”』(宮城県石巻市)協力:麦雑穀工房マイクロブルワリー、石巻ボランティア支援ベース絆、三反走仮設団地 / 他

はじめる自給！



# 種まき大作戦

SINCE 2007

お問い合わせ HOME

## 種まき大作戦とは？

2007年。藤本敏夫氏がこの世から去ってちょうど5年。彼は亡くなる間際、「持続可能な循環型田園都市」構想を、国に、私たちに残してくれました。

「食」の不安、「農」の危機、それを支える「環境」の破壊、広がる「格差」の絶望がますます叫ばれる2007年こそ、まさにジャストタイミング。藤本敏夫の思い、彼の描いた構想をわたしたちが受け継ぎ、「新しい国」、「本当の社会」をつくりたいと思います。未来への「希望」のために。

2007年、わたしたちは「農的幸福＝土と平和」というキーワードのもと、「団塊の世代」と次世代をつなぐ「団塊Jr.」のみなさんの力を結集させ、前代未聞の「農」ムーブメント「種まき大作戦」をはじめます。ぜひ参加ください。

2009.06.26 18:01

## ● 種まき大作戦？

[趣旨](#)

[建白書](#)

[運営体制](#)

[計画](#)

[実行委員長 Yaeメッセージ](#)

[主題歌『一流千流一粒万倍』](#)

## ● はじめる自給

**棚田チャレンジ**

**手前味噌チャレンジ**

**自然酒チャレンジ**

**地ビールチャレンジ<sup>★</sup>**



## 大塚洋一郎 氏:特活 農商工連携サポートセンター

活動地域:山梨県、宮城県仙台市、岩沼市、岩手県大槌町など

### 自己紹介:

私たちは農商工連携・6次産業化で地方に雇用創出することを目的に2009年夏に設立されたNPOです。耕作放棄地の開墾ツアーや被災地で農業復興支援のためのツアーを実施しています。

### 活動紹介

1) 子牛で開墾ツアー:山梨県勝沼で子牛を耕作放棄地に放牧して子牛に開墾してもらいます。今年も子牛の開墾をサポートする3回のツアーを計画しています。楽しく、おいしくがテーマです。

### 2) 復興トマト・復興キャベツツアー

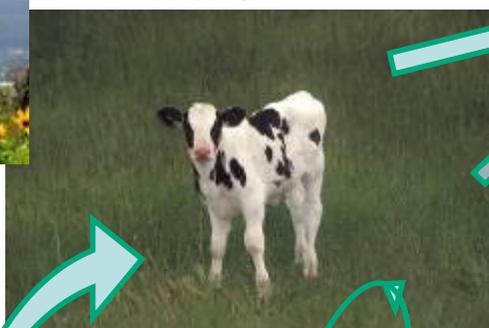
津波による塩害農地はデイズニールワールド230個分の広さです。この塩害農地に都会のボランティアがトマト、キャベツ、お花などを植え、収穫することで農家と農地の復興を支援するツアーです。今年は復興トマトの苗の植え付けが5月26日、収穫は7月28日の予定です。皆さん是非、ご参加下さい。連絡先:info@npo-noshokorenkei.jp 03-5259-8097

# 耕作放棄地 再生プロジェクト

牛パワーを借りて 農村 / 都会の交流、耕作地の再生を進めよう！



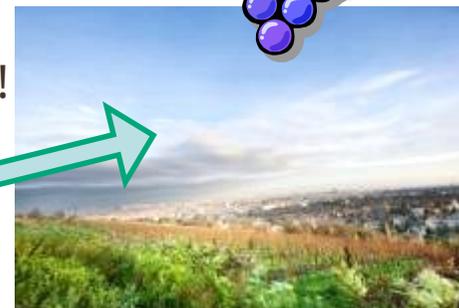
耕作放棄地に牛を放牧



餌は？  
ぶどうの搾りかす  
草 など

世話

ぶどう農家



ブドウ園に再生



加工品 都会へ

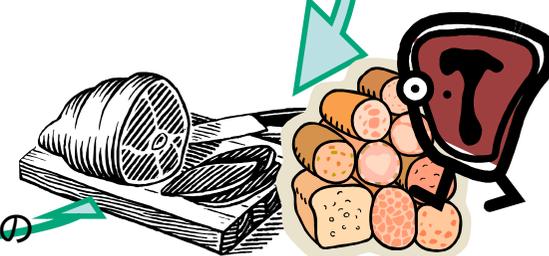


直売所

お買いもの

都会の人

お店でお買いもの



世話





## 白石真一 氏：株式会社千葉農産代表取締役

---

活動地域：千葉県/富津、君津、木更津、袖ヶ浦、大原、秋田/湯沢

### 自己紹介：

平成12年4月(有)千葉農産として法人化し、安心安全、消費者に見える農業を目指してまいりました。現在当社の自己所有地は約140ha他借入農地が約60haあり、実質的農用地として約80ha(田45ha、畑35ha)です。但し、80haのうち、約50haが今まで耕作されていなかった農地を再生してまいりました。

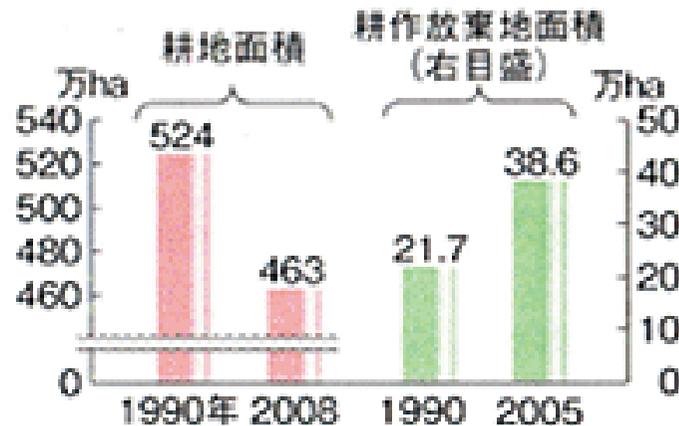
### 活動紹介：

弊社では、弊社所有の耕作地以外に、耕作放棄地・遊休地を借り上げて、耕作ができるよう圃場整備を施したのち、有期循環型農業にて耕作を行っております。これまでの耕作放棄地再生や遊休地の開拓の経験を生かし、弊社所有の大型重機や各種整備用トラクタを使用し整備・開墾を行っております。経年の放置などによる荒廃は元に戻るまで数年かかりますが、元の豊かな耕作地に蘇らせられるよう努力しております。

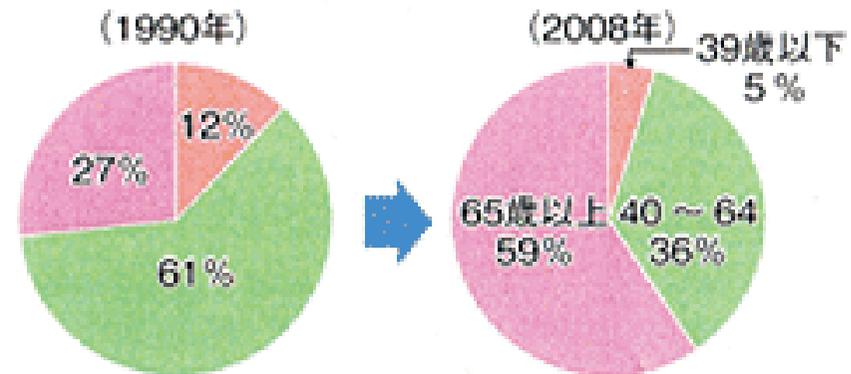
# 遊休地 / 耕作放棄地

耕作面積の拡大が安定供給の実現へ

- 全国の遊休農地、耕作放棄地の面積は埼玉県に匹敵
- 農業従事者の高齢化-----農業人口の激減
- 大規模化のメリット



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、  
「農林業センサス」



資料：農林水産省「農林業センサス」、  
「農業構造動態調査」

注：図中の割合は、販売農家の数値



## 竹本亮太郎 氏：株式会社キュアリンク檜原再生PJT

活動地域：東京都西多摩郡檜原村 / 千葉県香取市

自己紹介：

東京農業大学環境緑地学科卒29歳。学生時代は緑地計画、卒業後は庭師の修行。キュアリンク入社後は草生循環農法を学ぶ傍ら農業サービス提供。現在、檜原村に移住し休耕地を復旧、地域活性化を計画、実行中。

活動紹介：

千葉県香取市のくりもとファームと提携して実施している農業サービスを土台に、東京都西多摩郡檜原村で、新たな事業展開を開始。山間部の中に耕作放棄地が点在していたが、弊社サービスを提供できると考え、2010年7月よりボランティアで耕作放棄地の草刈を開始。定期的な農地の管理の過程で、役場、地域住民とも円滑なコミュニケーションがはかれるようになり、2011年5月、村へ移住。都市と農村のデュアルライフ提供を実現すべく草生循環農法による農地復旧をおこなう傍ら、農業を通じた地域活性、休耕地復旧、企業支援、企業向けサービス提供等を目指し、村内から村外まで檜原村の宣伝に幅広く活動中。



農 千葉県香取市 農業研修

全快野菜ちゃん

地元レストラン

福利厚生サービス系企業



慶応大学大学院 システムデザインマネジメント研究科

人材育成・研修会社

婚活会社



## 古屋富雄 氏：神奈川県南足柄市農業委員会事務局

---

### 活動地域：

### 自己紹介：

平成18年豊かなむらづくり全国表彰事業、平成20年全国花のまちづくりコンクールで共に農林水産大臣賞、平成22年緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞を受賞。現在、市都市経済部参事兼担当課長 農業委員会事務局長。

### 活動紹介：

遊休農地(耕作放棄地)の解消や食料自給率の向上を図るためには、より多くの市民が農業に携わる仕組みを創ることが、農業の理解が深まるものと考えます。本市農業委員会では、クラインガルテンやダーチャがもたらした効果を参考にして「南足柄市新規就農基準」と「市民農業者制度」を発足させた。今後は、この二つのシステムを連携させ、多様な担い手を確保し、南足柄市をはじめとした足柄地域、更には日本全体の農業の活性化に繋がりたい。

# 遊休農地(耕作放棄地)の解消 食料自給率の向上

(「平成 20 年度耕作放棄地全体調査」 耕作放棄地面積 62ha)

農業の担い手の確保

市民の農業への理解

## 新たな農業参入システムの利用

【新規就農を推進】

就農希望者

耕作面積  
(1000㎡以上)

南足柄市新規就農基準

【市民農業者の利用を推進】

定年退職者等

耕作面積  
(南足柄市新規就農基準未満(1000㎡)~300㎡)

市民農業者制度

【レクリエーション的な利用を推進】

一般市民

耕作面積  
(300㎡未満)

特定農地貸付、農地利用方式等の  
現行制度による利用



## 諸田三比呂 氏(株式会社新しい村)

活動地域: 埼玉県南埼玉郡宮代町

自己紹介:

新しい村はスカイツリーから東武線で約40分のところにあります。東武動物公園に隣接している、総合農業施設です。田畑40町を抱える農業部門、年間売上2億3千万の直売所、年間1万人を超えるグリーンツーリズムの3つの柱で、農のある生活の提案及び農のあるまちづくりを行っています。

活動紹介

遊休農地の再生に関しては、緊急雇用対策事業として、遊休農地再生事業を行政から委託を受けて行っています。20才代の若手4人を雇用し、遊休農地を再生し、生産を行っています。今後も同様に生産を担っていく存在です。今後の課題は、農家の高齢化による生産減少をいかに歯止めをかけるかです。当社の年齢別の人員売上構成を見ますと、70才以上の方が40%を占め、売上は約55%になります。まさに高齢者依存度がものすごく高い状況です。しかも後継者はほとんどいません。これは今後5年間でいい物が作れるいわゆる優良農地が加速度的に遊休農地化していくことです。我々は農業技術と田畑をどのようにして後世に残していくか、スピード感のある仕組みづくりを行っていきます。

## 新しい村の生産者売上構成の現状

	対象農家数 (人)	構成比率 (%)	売上金額 (千円)	構成比率 (%)
70才以上	18	40.9	33,142	52.83
60才台	10	22.7	13,004	20.73
50才台	9	20.5	10,485	16.71
50才未満	7	15.9	6,098	9.72
合計	44	100	62,729	100

抽出条件

- ・年齢の判明している農家の4月～12月までの販売額
- ・売上金額は全農家売上の80%になります。

### 考えられること

- ・お金が稼げる優良農地が減少し遊休農地化する可能性が高い。
- ・新しい村というより宮代町の農業が衰退する可能性があるのではないか
- ・町全体で若い世代が育っていない。

### 違う観点から見ると

- ・農地貸借及び農家育成のチャンスである
- ・若い人が売上を上げられるチャンスがある。



## 高安和夫 氏：銀座ミツバチプロジェクト「みつばちの里づくり」

---

活動地域：東京都、茨城県、大子町、笠間市、稲敷市

自己紹介：

(有)アグリクリエイトの東京支社長及び、NPO銀座ミツバチプロジェクト理事長として、都市生活者に農の大切さを発信。昨年、日本在来種ミツバチ協会を設立し地域の農業生産者と「みつばちの里」づくりを推進中。

活動紹介：

耕作放棄地の復活と環境向上型農業を推進するために、各地で「みつばちの里づくり協議会」の設立を支援し、ミツバチ認証農産物の普及、販売する活動を行っています。具体的には、耕作放棄地に蜜源として菜の花やレンゲを植え、在来種の日本ミツバチを飼って蜂蜜を取ります。また、巣箱の付近の田んぼや畑では、極力農薬使用を控えた、トンボやカエル、ホタルなど他の生き物にもやさしい環境向上型農業を実現し、基準に合う物はミツバチ(生き物)認証農産物として、「みつばちの里」マークを付けて販売します。昨年、茨城県では大子町、笠間市、稲敷市の生産者が中心になり「茨城みつばちの里づくり協議会」が立ち上がりました。

# 大子町みつばちの里づくり



大子町では耕作放棄地に  
蜜源として菜の花やレンゲを  
植え、みつばちの里づくりを  
進めています



## 仲野忠晴 氏 (NPO法人「畑と田んぼ環境」再生会)

---

活動地域: 神奈川県相模原市

自己紹介:

農家の協力のもと、休耕地を市民の手で生き物溢れる自然豊かな環境に再生する活動をしています。農的生活を楽しむことが広がれば、「いのちを大切に作る社会」の土台作りにつながると思います。

活動紹介

活動の中心は、多くの方が農的生活を楽しくできるように支援し、その輪を広げることです。そのために素人でもできる畑と田んぼでの野菜やお米作りの研修会を実施しています。研修後「環境自作人」に認定された人は、NPOの管理地でお米や野菜を育てることができます。また、自分たちの田畑だけでなく周囲全体を生き物豊かな環境にしていくために近隣の田畑の清掃活動も行っています。その他にも会員同士で畑や田んぼで採れた食材を中心に料理交流会を行い、楽しみながら食の情報を交換しています。最近では、有志で森林整備、炭焼きも行うなど、活動内容も広がりを見せています。





## 開澤真一郎 氏:特活)NICE(日本国際ワークキャンプセンター)

活動地域:岩手県陸前高田市/福島県昭和村/東京都日の出町/他

自己紹介:

開澤(かいざわ)真一郎。NICE代表、国連・CCIVS副代表。休学中の1990年にNICEを設立。国内・アジア10ヶ国でワークキャンプを開拓。30年間風邪知らず。河津(かわず)舞。今春、NICE九州事務局を開設に燃える気鋭の若手。

活動紹介:

数日間～数ヶ月間のワークキャンプで(合宿型ボランティア活動)で、日本・世界の若者と住民達が環境・農業・福祉・開発等に取り組む。21年間で2874回主催し、45661人が参加。耕作放棄地の再生では京都府和束町で荒廃茶園を「お茶の公園」として蘇らせ、長野県小谷村の廃村で有機農業を営む共同体と田畑を耕し、福井県勝山市で住民2名の集落で田を再生。大阪府富田林市では里山整備の一環で、東京都日の出町でもCSR活動として企業の社員と共に田畑を復活。岩手県陸前高田市では震災で壊されたりんご、豆等の畑や田を再生。ワークキャンプの共催団体も募集中！国に対しても、田畑の再生をより本格的に行う長期ワークキャンプの官民協働を提言している。

# ワークキャンプで取り組む、耕作放棄地の再生！

日本・世界の若者が「合宿型ボランティア」で、地域の方々と数日間～数ヶ月間活動。



福島県昭和村(田の再生)



岩手県陸前高田市  
(りんご・豆・田など)



大阪府富田林市(里山で)

毎月、若者が集落にやってくる。ワークや交流会などの継続的な交流を通じて、集落が着実に盛り上がりつつあります。若者と共にムラの未来への可能性を感じられる、貴重な機会になっています。

苧麻倶楽部 事務局長 尾崎嘉洋さん

京都府和束町(お茶の公園作り)  
地域で就農する若者も輩出！  
長野県小谷村(廃村の再生)  
共同体で米や野菜の有機農業  
東京都日の出町(田んぼを手入れ)  
企業の社員も年間を通じて参加  
福井県勝山市(山奥で田んぼ復活)  
長期間住み込む隊員が活動を企画。

共催団体・募集中！

数日間・数週間・  
数ヶ月間のワークキャンプを一緒に企画しませんか？ボランティアの宿泊・食事さえ提供頂ければOKです！

お気軽にお問合せを。

特活)NICE(日本国際ワークキャンプセンター)

代表 開澤真一郎(nice@nice1.gr.jp)

